

ボランティアを考える

1. 講座名	ボランティアを考える
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数： 8 必要出席回数： 6 スクーリング代替課題： 3
5. レポート	総回数： 4 必要合格回数： 4
6. 目標	[知識・技能] ・ボランティアに関する基礎的な知識を身につけることができる。 [思考力・判断力・表現力] ・ボランティアの役割や意味を考える力を育むことができる。 ・自分をみつめ、ボランティアをする際に必要な心構え・マナーなどを身につけることができる。 [主体性・学びに向かう力、人間性等] ・地域社会の一員として、ボランティアを主体的に考えることができる。
7. 活動内容	・ボランティア活動の事例から、活動内容・方法、必要な技能を理解し、ボランティアの意義を学ぶ。個人ワークをまじえた講義形式。
8. 評価方法	5段階評定 観点別評価 ①知識・技能 ・レポート(70%)とテスト(30%) - ボランティアに関する知識 ②思考・判断・表現 ・レポート(30%)とテスト(70%) - ボランティアに対する関心・考えなど ③主体的に学習に取り組む態度 - レポート、スクーリングにおける学習意欲や授業態度(100%)
9. 教材	プリント教材

スクーリング計画		レポート
第 1 回 第 2 回	【オリエンテーション】 本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 【ボランティアってなんだろう？】 ・ボランティアの基本的な性質など	レポート①
第 3 回 第 4 回	【福祉ボランティア】 ・日本において活動が展開されている福祉ボランティアについて、事例を用いてその意義を学ぶ。	レポート②
第 5 回 第 6 回	【地域ボランティア】 ・地域社会の一員として、地域の中で展開されているボランティア活動について、その意義を学ぶ。	レポート③
第 7 回 第 8 回	【国際ボランティア】 ・地球上で起きている課題について学び、NGOの活動や役割を知り、私たちにできることを考える。 【まとめ（復習）】 ・第1回から第7回までの復習とテストについて	レポート④

ホースライディング

1. 講座名	ホースライディング
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数:8 必要出席回数:6 スクーリング代替課題:0
5. レポート	総回数:4 必要合格回数:4
6. 目標	[知識・技能] ・馬について知ることができる 本能と性質 / 馬の感情 / 馬体の手入れ、蹄の手入れ ・乗馬について知ることができる 馬体の特徴、名称 / 馬と人間の構造比較 ・鞍、勒について知ることができる 鞍の名称、つけ方 / 勒の名称、つけ方 ・乗馬の準備ができる [思考力・判断力・表現力] ・鞍、勒について知ることができる 鞍の名称、つけ方 / 勒の名称、つけ方 ・乗馬の準備ができる [主体性・学びに向かう力、人間性等] ・馬について知ることができる 本能と性質 / 馬の感情 / 馬体の手入れ、蹄の手入れ ・鞍、勒について知ることができる 鞍の名称、つけ方 / 勒の名称、つけ方 ・乗馬の準備ができる ・乗馬することができる 乗馬、下馬の仕方 / 常歩、軽速歩、速歩 / 発進と停止 ・馬上体操ができる 正しいリズムと姿勢を身に着ける
7. 活動内容	レポートで馬への基礎知識をつけ、授業は実技で行います。 ・他の人の乗馬の仕方 ・馬装の仕方を学習し、実際に鞍、勒を馬に装着する ・乗馬しながら馬上体操、発進と停止を馬と協力しながら行う。回数を重ね、各自が馬に指令を出す

8. 評価方法	5段階評価
	観点別評価 ①知識・技能 ・レポート(70%)とテスト(30%) 馬に対しての用語、馬の癖について ②思考・判断・表現 ・レポート(30%)とテスト(70%) 乗馬をする前に想像し、実際に乗馬して自分の想像していた乗馬ができるか ③主体的に学習に取り組む態度 ・スクーリング出席(100%)
9. 教材	自主教材

スクーリング計画	
第1回	乗るための準備。馬を知る・触れる。乗馬の仕方、鞍について知る。蹄の手入れ、馬の手入れを行う。
第2回	
第3回	各自で乗るための準備。グループに分かれて①見る ②鞍を着脱 ③乗馬(常歩、軽速歩)を行う。
第4回	
第5回	各自で乗るための準備。手綱を持ちながら、各自で並足、常歩、軽速歩を馬に指示し動かす。グループに分かれて①見る ②鞍を着脱 ③乗馬(常歩、軽速歩)しながら馬に指示をだし、方向を変える。
第6回	
第7回	グループに分かれてテストを行う(実技とチェックテスト)
第8回	

コミュニケーション

1. 講座名	コミュニケーション α
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：8 必要出席回数：6 スクーリング代替課題：3
5. レポート	総回数：6 必要合格回数：6
6. 目標	【知識・技能】 自分の意見を、自分の言葉を使い、明確に伝えることができる。 【思考・判断・表現】 対面コミュニケーションへの関心、取り組み方を考えることができる。 グループワークを通じて、色々な人との関わり方を持つことができる。 【主体的に学習に取り組む態】 レポート、スクーリングにおける学習意欲や授業態度を養うことができる。
7. 活動内容	基本的に教室内で行います。ペアワークまたはグループワークで、ディスカッションを行い、ミッション（課題）をクリアしていきます。座学ではなく、自ら体験する感覚で、楽しみながら他者と関わりを持っています。
8. 評価方法	5段階評定 観点別評価 ①知識・技能 ・レポート(70%)とテスト(30%) ②思考・判断・表現 ・レポート(30%)とテスト(70%) ③主体的に学習に取り組む態度 レポート提出時期とスクーリング出席回数(100%)
9. 教材	プリント教材など

スクーリング計画		レポート
第 1 回	【オリエンテーション】 本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明。 簡単なグループワーク。	
第 2 回	【ミッション①他者の事を知る】 ・共通点と相違点、質問	レポート①
第 3 回	【ミッション②想像する】 ランキングを作る。	レポート②
第 4 回	【ミッション③企画する】 プランニングをする。	レポート③
第 5 回	【ミッション④相手の立場に立って考える】 ・悩み相談	レポート④
第 6 回	【ミッション⑤協力する】 国名ゲーム	レポート⑤
第 7 回	【ミッション⑥自分の言葉で伝える】 他己紹介	レポート⑥
第 8 回	【まとめ】 グループワーク。	

進学国語

1. 講座名	進学国語 α
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数： 18 必要出席回数： 8 スクーリング代替課題： なし
5. レポート	総回数： 6 必要合格回数： 6
6. 目標	【知識および技能】 ・文章読解や文章表現に必要な国語の知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・評論や小説、随想（随筆）の読解を通じて、書くことを通して、文章の種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めることができる。 【主体性・学びに向かう力、人間性等】 ・大学入学試験に向けた問題演習を通して、進路実現に対応する力を養うことができる。
7. 活動内容	・教材の各設問を読み、問われている内容を把握する。 ・教材の各設問で問われている内容について、最適な解答を見つける。 ・教材の各設問で用いられている漢字の読み書きや文法、表現技法を習得する。 ・教材の各設問で用いられている指示語・接続語の意味や副詞の呼応を理解し、それらを使って文章を読解する。 ・演習問題を数多く解くことで、文章読解力を養う。 ・演習で学んだ国語の知識や技能を使って、入試用の作文・小論文を書く。
8. 評価方法	5段階評定 観点別評価 ① 知識・技能 ・レポート(30%)とテスト(70%) 語彙、文法、敬語 ② 思考・判断・表現 ・レポート(70%)とテスト(30%) 小論文、作文、表現・修辞技法、文章読解 ③主体的に学習に取り組む態度 ・スクーリング出席とレポート提出状況、各レポートの自分の意見や感想を「書く」部分の評価
9. 教材	自主教材

スクーリング計画		
第 1 回	①	演習問題①（評論とは 読解と解法） レポート①
第 2 回	②	演習問題①（評論とは 読解と解法） レポート①
第 3 回	③	演習問題②（小説とは 読解と解法） レポート②
第 4 回	④	演習問題②（小説とは 読解と解法） レポート②
第 5 回	⑤	演習問題③（随想とは 読解と解法） レポート③
第 6 回	⑥	演習問題③（随想とは 読解と解法） レポート③
第 7 回	⑦	演習問題④ レポート④
第 8 回	⑧	演習問題④ レポート④
第 9 回	⑨	演習問題⑤ レポート⑤
第 10 回	⑩	演習問題⑤ レポート⑤
第 11 回	⑪	演習問題⑥ レポート⑥
第 12 回	⑫	演習問題⑥ レポート⑥
第 13 回	⑬	演習問題⑦
第 14 回	⑭	演習問題⑦
第 15 回	⑮	演習問題⑧
第 16 回	⑯	演習問題⑧
第 17 回	⑰	演習問題⑨
第 18 回	⑱	演習問題⑨ テスト対策

【補足】

※スクーリング開始前に実施したコースオリエンテーションにおいて、スクーリング内容を教科別（国語・英語・数学）に説明し、受講生徒への周知をはかる。

※国語・数学受講生徒とコース主担当者との二者面談を、スクーリング期間中のチェックテストの時間を使って実施し、受講生徒の進路志望を聞き取る。聞き取った内容は、コースのスクーリング担当者や受講生徒の担任に共有する。

進学国語

1. 講座名	進学国語b
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数：18 必要出席回数：8 スクーリング代替課題：なし
5. レポート	総回数：6 必要合格回数：6
6. 目標	【知識および技能】 ・文章読解や文章表現に必要な国語の知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・評論や小説、随想（随筆）の読解を通じて、書くことを通して、文章の種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めることができる。 【主体性・学びに向かう力、人間性等】 ・大学入学試験に向けた問題演習を通して、進路実現に対応する力を養うことができる。
7. 活動内容	・教材の各設問を読み、問われている内容を把握する。 ・教材の各設問で問われている内容について、最適な解答を見つける。 ・教材の各設問で用いられている漢字の読み書きや文法、表現技法を習得する。 ・教材の各設問で用いられている指示語・接続語の意味や副詞の呼応を理解し、それらを使って文章を読解する。 ・演習問題を数多く解くことで、文章読解力を養う。 ・演習で学んだ国語の知識や技能を使って、入試用の作文・小論文を書く。
8. 評価方法	5段階評定 観点別評価 ① 知識・技能 ・レポート(30%)とテスト(70%) 語彙、文法、敬語 ② 思考・判断・表現 ・レポート(70%)とテスト(30%) 小論文、作文、表現・修辞技法、文章読解 ③主体的に学習に取り組む態度 ・スクーリング出席とレポート提出状況、各レポートの自分の意見や感想を「書く」部分の評価
9. 教材	自主教材

スクーリング計画		
第 1 回	①	演習問題① レポート①
第 2 回	②	演習問題① レポート①
第 3 回	③	演習問題② レポート②
第 4 回	④	演習問題② レポート②
第 5 回	⑤	演習問題③ レポート③
第 6 回	⑥	演習問題③ レポート③
第 7 回	⑦	演習問題④ レポート④
第 8 回	⑧	演習問題④ レポート④
第 9 回	⑨	演習問題⑤ レポート⑤
第 10 回	⑩	演習問題⑤ レポート⑤
第 11 回	⑪	演習問題⑥ レポート⑥
第 12 回	⑫	演習問題⑥ レポート⑥
第 13 回	⑬	演習問題⑦
第 14 回	⑭	演習問題⑦
第 15 回	⑮	演習問題⑧
第 16 回	⑯	演習問題⑧
第 17 回	⑰	演習問題⑨
第 18 回	⑱	演習問題⑨ テスト対策

【補足】

※スクーリング開始前に実施したコースオリエンテーションにおいて、スクーリング内容を教科別（国語・英語・数学）に説明し、受講生徒への周知をはかる。

※国語・数学受講生徒とコース主担当者との二者面談を、スクーリング期間中のチェックテストの時間を使って実施し、受講生徒の進路志望を聞き取る。聞き取った内容は、コースのスクーリング担当者や受講生徒の担任に共有する。

進学数学

1. 講座名	進学数学
2. 分類	総合科目(学校設定:数学)
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数: 8 必要出席回数: 8 スクーリング代替課題: 0
5. レポート	総回数: 6 必要合格回数: 6
6. 目標	進学コースを選択した生徒の中で、特に数学で受験を希望する生徒が選択する科目・講座。基礎学力を土台に、数学Ⅰの履修も終え、数学受験問題への応用力をつけ、志望校の受験攻略を目標とする。 受験問題に取り組む中で、数学力を付けていく過程で自信と学ぶ楽しさを得ることも目指す。 [知識・技能] 数学の基礎学力、数学Ⅰの学習内容を十分理解し、応用できる。 [思考力・判断力・表現力] レポートの学習内容を通して、各単元の学習内容を理解し応用し、解答に至る式などを順序立て説明できる。他の説明を客観的に捉え共有できる。 [主体性・学びに向かう力、人間性等] 数学の受験問題に真正面から取り組む力を、解答に至る途中式や考え方を解き、主体的に説明し、他の説明も客観的に聞き入れる中で高めていく。共通理解に導く中で、他に対する尊敬を持つ心を育てることができる。
7. 活動内容	・レポート、演習問題の解答・説明の反復。添削指導に対する理解、他の説明に傾聴する姿勢。
8. 評価方法	5段階評定 観点別評価 ①知識・技能 ・レポートとテスト ②思考・判断・表現 ・レポートとテスト ③主体的に学習に取り組む態度 ・レポート提出時期とスクーリング出席回数,
9. 教材	過去問情報を集積した、数学科担当教員が作成する自主教材を使用する。

スクーリング計画	
第 1 回	レポート① 展開と因数分解・根号を含む式・1次不等式
第 2 回	レポート② 2次関数のグラフ、2次関数の最大値・最小値
第 3 回	レポート③ グラフと2次方程式・2次不等式
第 4 回	レポート③ グラフと2次方程式・2次不等式
第 5 回	レポート④ 三角比
第 6 回	レポート⑤ 正弦定理・余弦定理、図形の数量
第 7 回	レポート⑥ 集合と命題
第 8 回	レポート⑥ データの分析

進学英語

1. 講座名	進学英語 α
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数： 18 必要出席回数： 8
5. レポート	総回数： 6 必要合格回数： 6
6. 目標	進路選択で、大学/短大/各種専門学校を選択、英語の学力試験を課される生徒を対象に、文法基礎の理解と短文（主題のある文章）の読解力の基礎の修得を目標とする。また、良質な洋楽（ポップミュージック）、You-tube なども視聴し、英語の感覚、論理に気づき、知る。 [知識・技能] 英語の基礎文法を理解し、主題のある文章を読むことができる。 [思考力・判断力・表現力] 英文の論理構造を把握し、文章の主題をつかむことができる。また、語句整序、英作文の学習により、適切な英語表現をできる。 [主体性・学びに向かう力、人間性等] 良質な洋楽、You-tube 視聴などから英語に興味と関心を持ち、進学演習サポートの自習と演習を通し自ら学んでいく姿勢を作ることができる。
7. 活動内容	スクーリング時に配布するプリントを元に講義→演習が基本パターン。また洋楽や英語で表見された You-Tube、映画なども活用して、理解を深めていく。
8. 評価方法	5段階評定 観点別評価 ① 知識・技能 基本的に単位認定テストにおける知識・技能の達成度で評価 ② 思考・判断・表現 単位認定テスト及びレポートの記述、授業中の態度等で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度 スクーリング出席回数と授業中の学習態度等で評価
9. 教材	スクーリング中に配布するプリント、

スクーリング(学習サポート)回数	授業内容	レポート
第1回(5/8)	文型1	レポート①
第2回(5/13)	文型2	
第3回(5/15)	不定詞1	レポート②
第4回(5/20)	不定詞2	
第5回(5/22)	動名詞1	レポート③
第6回(5/27)	動名詞2	
第7回(5/29)	分詞1	レポート④
第8回(6/3)	分詞2	
第9回(6/5)	分詞3	レポート⑤
第10回(6/10)	復習1	
第11回(6/12)	関係代名詞1	レポート⑥
第12回(6/17)	関係代名詞2	
第13回(6/19)	関係代名詞3	
第14回(6/24)	関係代名詞4	
第15回(6/26)	復習2	
第16回(7/1)	区と節1	
第17回(7/3)	区と節2	
第18回(7/8)	区と節3	

ESL

1. 講座名	ESL(a)
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数: 8 必要出席回数: 8 放送視聴課題: 4
5. レポート	総回数: 6 必要合格回数: 6
6. 目標	[知識・技能] 国や地域の名前、家族の呼び名、曜日や月、身の回りの物、身体的な特徴、習慣的な行動などを表現する語彙、基本的な文法を用いて短い文を理解することができる。 [思考力・判断力・表現力] 自分の国や住んでいる町、家族や余暇の過ごし方、学校生活など、身近なテーマについて、短い会話を通して相手とやり取りすることができる。 [主体性・学びに向かう力、人間性等] 主に自分や家族、学校について、まとまりのある文章を書き、事前に準備をして発表することができる。
7. 活動内容	文法練習、聴解練習、会話練習、ロールプレイ、短い作文、発表などを行う。
8. 評価方法	5段階評価 観点別評価 ①知識・技能 レポート 30%、実技テスト 70% ②思考・判断・表現 レポート 70%、実技テスト 30% ③主体的に学習に取り組む態度 スクーリング出席回数 100%
9. 教材	『Get Ahead 1』(Oxford 出版)

スクーリング 回数	授業内容	レポート 提出期限
1	Self-introduction Unit 1 : In the classroom - Questions in the classroom	
2	Unit 1 : In the classroom - Meeting people	Report 1
3	Unit 2: Faces - Describing people	Report 2
4	Unit 2: Faces - Asking to borrow things	Report 3
5	Unit 3: Free time - Talking about free time activities	
6	Unit 3: Free time - Discussing what to do	Report 4
7	Unit 4: School subjects - School schedules	Report 5
8	Unit 4: School subjects - Exchanging opinions	Report 6

ESL(b)

1. 講座名	ESL(b)
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数: 8 必要出席回数: 8 放送視聴課題: 4
5. レポート	総回数: 6 必要合格回数: 6
6. 目標	[知識・技能] 天気や温度、服装、物の位置、食べ物、建物、街並みなどを表現する語彙を使用し、基本的な文法を用いて短い文を書くことができる。 [思考力・判断力・表現力] 友人を誘う、物や建物の場所を尋ねる、食事について話す、レストランで注文するなど、身近なテーマや状況において、相手と会話することができる。 [主体性・学びに向かう力、人間性等] 余暇活動、食事の習慣、住んでいる場所などについて、まとまりのある文章を書き、事前に準備をして発表することができる。
7. 活動内容	文法練習、聴解練習、会話練習、ロールプレイ、短い作文、発表などを行う。
8. 評価方法	5段階評定 観点別評価 ①知識・技能 レポート 30%、実技テスト 70% ②思考・判断・表現 レポート 70%、実技テスト 30% ③主体的に学習に取り組む態度 スクーリング出席回数 100%
9. 教材	『Get Ahead 1』(Oxford 出版)

スクーリング 回数	授業内容	レポート 提出期限
1	Self-introduction Unit 5: Weather, clothes – Favorite months	
2	Unit 5: Weather, clothes – Making arrangements	Report 1
3	Unit 6: At home, in the classroom – Where is my school bag?	Report 2
4	Unit 6: At home, in the classroom – Describing your school	Report 3
5	Unit 7: Breakfast, lunch and dinner – What do you eat for breakfast?	
6	Unit 7: Breakfast, lunch and dinner – Ordering food	Report 4
7	Unit 8: Places in town, stores – What is your neighborhood like?	Report 5
8	Unit 8: Places in town, stores – Giving directions	Report 6

ベーシック演習（数学）

1. 講座名	ベーシック演習（数学）
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：20 必要出席回数：8 スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数：6 必要合格回数：6
6. 目標	[知識・技能] ・整数, 分数, 小数, 倍数, 約数など, 数についての基礎的な概念や原理・法則などを理解することができる。 ・正の数と負の数, 文字を用いた式, 一元一次方程式, 連立二元一次方程式, 一次関数, 数の平方根, 多項式と二次方程式, 図形の相似, 三平方の定理, 関数 $y=ax^2$ などに基礎的な概念や原理・法則などを理解することができる。 [思考力・判断力・表現力] ・数の範囲を拡張し, 数の性質や計算について考察したり, 文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりすることができる。 ・数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし, その特徴を表, 式, グラフなどで考察することができる。 ・図形の構成要素の関係に着目し, 図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。 [主体性・学びに向かう力、人間性等] ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとしたり, 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりすることができる。
7. 活動内容	・数について理解を深めるところから復習する。 ・基礎的・基本的な知識および技能をしっかりと習得するために、教員と例題を読み解いたり、自身で問題演習行ったりする。
8. 評価方法	5段階評定 観点別評価 ①知識・技能 ・レポートとテスト ②思考・判断・表現 ・レポートとテスト ③主体的に学習に取り組む態度 ・レポート提出時期とスクーリング出席回数, レポート内の振り返り欄の記入内容等により評価
9. 教材	新数学 I 入門 (NHK 出版)

スクーリング計画	
第1回 第2回 第3回	レポート① 整数・分数 整数の性質, 整数の四則計算, 分数の性質, 約分, 分数の四則計算, 公倍数, 公約数,
第4回 第5回 第6回	レポート② 正負の数・文字式 正負の数の性質, 絶対値, 正負の数の四則計算, 文字式の表し方, 文字式の計算
第7回 第8回 第9回 第10回	レポート③ 式の計算・乗法公式・因数分解・1次方程式 分配法則, 式の展開, 因数分解, 等式, 1次方程式
第11回 第12回 第13回	レポート④ 連立方程式・平方根 連立方程式(加減法・代入法), 平方根の定義, 平方根の計算
第14回 第15回 第16回 第17回	レポート⑤ 2次方程式・1次関数・2次関数 2次方程式の解き方, 関数とは, 1次関数, 2次関数($y=ax^2$ のグラフ)
第18回 第19回 第20回	レポート⑥ 相似・三平方の定理 相似な図形, 三角形の相似条件, 相似な図形の性質, 三平方の定理,

※クラス制コースの運営状況により, 回数を変更して行うことがあります。

ベーシック演習（英語Ⅰ）

1. 講座名	ベーシック演習（英語Ⅰ）
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：8 必要出席回数：8 スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数：6 必要合格回数：6
6. 目標	[知識・技能] ・中学校1年生からの単元を、英語を使ったクラスワークや問題演習を通して学びなおすことができる。 [思考力・判断力・表現力] ・身近な話題や関心のあるものについて、英語で表現することができる。 [主体性・学びに向かう力、人間性等] ・異文化について興味をもち、理解しようとする気持ちを養うことができる。
7. 活動内容	・中学校の学びなおしを行う。 ・講義や問題演習だけでなく、クラスワークやペアワークなどを行う。 ・実践的なものを取り入れる。 ・また英作文(自由記述)にもチャレンジする。
8. 評価方法	5段階評定 観点別評価 ①知識・技能 ・レポート(30%)とテスト(70%) 語彙や文型の問題 ②思考・判断・表現 ・レポート(70%)とテスト(30%) 読解、作文、会話の問題 ③ 主体的に学習に取り組む態度 レポートの「振り返り」部分(34%)とスクーリング出席とレポート合格(66%)
9. 教材	英語Ⅰ 入門(NHK 出版)

スクーリング計画		
スクーリング回数	授業内容	レポート
第 1 回	オリエンテーション・クラスワーク(ペアワーク) be 動詞	レポート①
第 2 回	一般動詞	レポート②
第 3 回	一般動詞(三単現)	レポート③
第 4 回	形容詞・副詞	レポート④
第 5 回	疑問詞①	レポート⑤
第 6 回	疑問詞②	
第 7 回	英作文練習①	レポート⑥
第 8 回	まとめ	レポート①～⑥

日本語

1. 講座名	日本語(a)
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング*	総回数: 20 必要出席回数: 8 スクーリング代替課題: 4
5. レポート	総回数: 6 必要合格回数: 6
6. 目標	[知識・技能] 日常生活、興味関心があること、身近な社会的テーマについて、ある程度の長さの文章を読んで理解することができる。 [思考力・判断力・表現力] 日常生活、興味関心があること、身近な社会的テーマについて、自分の経験や意見を会話の中で伝えたり、発表したりすることができる。 [主体性・学びに向かう力、人間性等] 小学校高学年から中学校の教科内容について概要や要点を理解し、キーワードを用いて概念や意味などを説明することができる。
7. 活動内容	初めにお互いを知り慣れるためにクラス内で自己紹介やゲームなどを行う。日本語初級後半から中級の教材等を使って、教科や日本文化、社会事情などをテーマに文章を読んだり、自分の経験や意見を話したり、作文を書いたりする。グループ活動やペア活動も行う。漢字は定期的に小テストを行い、定着を図る。
8. 評価方法	5段階評定 観点別評価 ①筆記テスト・・・70%、平常点 30% ②筆記テスト・・・70%、平常点 30% ③筆記テスト・・・70%、平常点 30%
9. 教材	『外国人生徒のための 教科につなげる日本語 基礎編』

スクーリング回数	場所	授業内容	レポート 提出期限
第1回 4/25(火)	YMCA 学院高校	本講座の目的、内容、評価方法、 スクーリングやレポートについての説明	
第2回 4/27(木)	YMCA 学院高校	交流活動・クイズに挑戦!	
5/9(火)	天王寺	【絶滅動物—シーラカンス—】① 言葉リスト・読む前に ※ レポート1	
5/11(木)	天王寺	【絶滅動物—シーラカンス—】② 言葉リスト・読む前に ※ レポート1(つづき)	
5/16(火)	天王寺	【絶滅動物—シーラカンス—】③ 本文・内容理解 ※ レポート2	
5/18(木)	天王寺	【絶滅動物—シーラカンス—】④ 本文・内容理解 ※ レポート2(つづき)	
5/23(火)	天王寺	【絶滅動物—シーラカンス—】⑤ 漢字練習・文法 ※ レポート3	レポート1
5/25(木)	天王寺	【絶滅動物—シーラカンス—】⑥ 漢字練習・文法/活動 ※ レポート3(つづき)	
5/30(火)	天王寺	【地球を知る】① 言葉リスト・読む前に ※ レポート4	レポート2
6/1(木)	天王寺	【地球を知る】② 言葉リスト・読む前に ※ レポート1(つづき)	
6/6(火)	天王寺	【地球を知る】③ 本文・内容理解 ※ レポート2	レポート3
6/8(木)	天王寺	【地球を知る】④ 本文・内容理解 ※ レポート2(つづき)	
6/13(火)	天王寺	【地球を知る】⑤ 漢字練習・文法 ※ レポート3	レポート4
6/15(木)	天王寺	【地球を知る】⑥ 漢字練習・文法/活動 ※ レポート3(つづき)	
6/20(火)	天王寺	授業・放送視聴課題 ①	レポート5
6/22(木)	天王寺	授業・放送視聴課題 ②	
6/27(火)	天王寺	授業・放送視聴課題 ③	レポート6
6/29(木)	天王寺	授業・放送視聴課題 ④	
第3回 7/4(火)	YMCA 学院高校	単位認定テスト準備 ①	
第4回 7/6(木)	YMCA 学院高校	単位認定テスト準備 ②	

日本語演習

1. 講座名	日本語演習(α)
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数: 20 必要出席回数: 8 スクーリング代替課題: 4
5. レポート	総回数: 6 必要合格回数: 6
6. 目標	[知識・技能] 日本語能力試験に合格できるように計画的に学習を進める。 [思考力・判断力・表現力] 3年次で日本語能力試験 N2 に合格する。 [主体性・学びに向かう力、人間性等] 日本語能力試験のためだけでなく、ニュースで取り扱われる話題を理解したり、交流活動や進学・就職をしたりするのに必要な日本語運用力を身につける。
7. 活動内容	テキストを使用し、日本語の語彙・漢字・文法・読解・聴解などの学習を進める。 また、模擬試験問題を使用し、日本語能力試験の問題形式に慣れる。
8. 評価方法	5段階評定 観点別評価 ①筆記テスト・・・70%、平常点 30% ②筆記テスト・・・70%、平常点 30% ③筆記テスト・・・70%、平常点 30%
9. 教材	『日本語総まとめ』シリーズ

スクーリング 回数	場所	授業内容	レポート 提出期限
第1回 4/25(火)	YMCA 学院高校	本講座の目的、内容、評価方法、 スクーリングやレポートについての説明	
第2回 4/27(木)	YMCA 学院高校	日本語能力試験・レベルチェック	
5/9(火)	天王寺	授業・レポート①	
5/11(木)	天王寺	授業・レポート①	
5/16(火)	天王寺	授業・レポート②	
5/18(木)	天王寺	授業・レポート②	
5/23(火)	天王寺	授業・レポート③	レポート①
5/25(木)	天王寺	授業・レポート③	
5/30(火)	天王寺	授業・レポート④	レポート②
6/1(木)	天王寺	授業・レポート④	
6/6(火)	天王寺	授業・レポート⑤	レポート③
6/8(木)	天王寺	授業・レポート⑤	
6/13(火)	天王寺	授業・レポート⑥	レポート④
6/15(木)	天王寺	授業・レポート⑥	
6/20(火)	天王寺	授業・放送視聴課題 ①	レポート⑤
6/22(木)	天王寺	授業・放送視聴課題 ②	
6/27(火)	天王寺	授業・放送視聴課題 ③	レポート⑥
6/29(木)	天王寺	授業・放送視聴課題 ④	
第3回 7/4(火)	YMCA 学院高校	単位認定テスト準備 ①	
第4回 7/6(木)	YMCA 学院高校	単位認定テスト準備 ②	

表現アートセラピーα

1. 講座名	表現アートセラピーα
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：8 必要出席回数：6 スクーリング代替課題：3
5. レポート	総回数：4 必要合格回数：4
6. 目標	[知識・技能] ・筆の扱い方や、線の種類、紙の種類や墨の特徴など多くの知識を学び自分の基礎表現にすることができる。 [思考力・判断力・表現力] ・自分の日々感じていることを言語化したり、線や形や色などを用いて、より自分に合った表現をすることができる。 [主体性・学びに向かう力、人間性等] ・自ら表現方法を生み出したり、たくさんの作品を作るという実践を通して自分の思いや意欲を楽しみながら形にすることができる。
7. 活動内容	・墨、筆を使いながら、自分を自由に表現していく。 ・言語化できないときは、線や形を用いることにより、リラックスして自分の心に違和感のない形で創作を目指し、より自分の本質を表現する。 ・ペアワークなど、他者の表現に触れることにより、視野を広げて、お互いの価値観を受容できることを意義とする。 ・自分の感性を楽しんで表現できるように、さまざまな道具を使い豊かな表現をしていく。
8. 評価方法	5段階評価 観点別評価 ①知識・技能 ・レポート(70%)とテスト(30%) ②思考・判断・表現 ・レポート(30%)とテスト(70%) ③主体的に学習に取り組む態度 ・レポートの「振り返り」部分(40%)とスクーリング出席(60%)
9. 教材	自主教材プリント

スクーリング計画	
第 1 回	筆の使い方、線の出し方
第 2 回	アルファベットでの表現
第 3 回	文字の変形
第 4 回	形での創作
第 5 回	「強」という文字での表現
第 6 回	自分の好きな言葉での創作
第 7 回	禅語を知る
第 8 回	自分の好きな禅語での創作
第 9 回	みんなで共に創る

表現アートセラピーb

1. 講座名	表現アートセラピーb
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数:8 必要出席回数: 6 スクーリング代替課題:3
5. レポート	総回数:4 必要合格回数: 4
6. 目標	[知識・技能] ・様々な画材の基礎知識や表現を学び、自分の表現方法を見出すことができる。 [思考力・判断力・表現力] ・自分の中にある抽象的な想いを、かたちや色などを使って表現することができる。 この世界を生きる上で、視野を広げるきっかけを作ることができる。 [主体性・学びに向かう力、人間性等] 学んだ知識を応用して、新たな表現方法を生み出すことができる。 より良い作品を作りたいという意欲。自分の感情の変化を楽しめる視点を持つことができる。
7. 活動内容	・日々湧き起こる言葉にはしづらい抽象的な自分の感情を、絵具や筆、色紙などを用いた様々な表現技法を通して、色やかたちに親しみながら自由に表現する。 ・古今東西の人々が、これまでどう世界を捉え、表現してきたかを知ること、自分自身が生きる上での視野を広げる。
8. 評価方法	5段階評定 観点別評価 ①知識・技能 ・レポート(70%)とテスト(30%) ②思考・判断・表現 ・レポート(30%)とテスト(70%) ③主体的に学習に取り組む態度 ・レポートの「振り返り」部分(40%)とスクーリング出席(60%)
9. 教材	自主教材 ・5～6ページ程度の小冊子 ・作例画像、動画

スクーリング計画	
第 1 回	みる なぞる:しみ・ヒビなど、無作為のかたちに美を見出すためのガイド
第 2 回	みる なぞる:無作為のかたちから引用した表現
第 3 回	ふるえる色:生きた色の知識をガイド
第 4 回	ふるえる色:色材を扱った表現
第 5 回	空間:様々な遠近法、古今東西の人々がこの世界をどう捉えてきたかのガイド
第 6 回	空間:空間、奥行きを意識した表現
第 7 回	時間:古今東西の人々が、どう時間を捉えてきたかのガイド
第 8 回	時間:時間を意識した表現・これまでの表現方法を踏まえた自由制作

SST

1. 講座名	SSTa
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数： 8 必要出席回数： 8 スクーリング代替課題： 4
5. レポート	総回数： 4 必要合格回数： 4
6. 目標	[知識・技能] ・コミュニケーションの基礎的な知識を得ることができる。 [思考力・判断力・表現力] ・コミュニケーションを円滑にとれるスキルを身につけることができる。 [主体性・学びに向かう力、人間性等] ・円滑なコミュニケーションによってストレスの軽減、生活の質の向上を目指すことができる。
7. 活動内容	・基礎的な知識・事例の考察等、講義やロールプレイ形式を中心とする。
8. 評価方法	5 段階評価 観点別評価 ①知識・技能 ・レポートとテスト ②思考・判断・表現 ・レポートとテスト ③主体的に学習に取り組む態度 - レポート、スクーリングにおける学習意欲や授業態度
9. 教材	プリント教材

スクーリング計画		レポート
第 1 回 第 2 回	【オリエンテーション】 本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 【SST ってなんだろう？】 ・SST の基本的な知識・目的など	レポート①
第 3 回 第 4 回	【伝えるについて 1】 ・これまでうまくできた伝え方、難しかった伝え方 ・今後の対処法について	レポート②
第 5 回 第 6 回	【伝えるについて 2】 ・上手な断り方について ・ロールプレイによる検討	レポート③
第 7 回 第 8 回	【伝えるについて 3】 ・相手の気持ち・状況の想像	レポート④